

第4回 サービスデザイン研究会

議事要旨

1. 日時・場所

日時：令和2年3月4日（水）10時00分～12時00分

場所：テレカンファレンスで開催

2. 出席委員（6名）

岩寄博論委員、武山政直委員（座長）、長谷川敦士委員、三澤直加委員、山口博志委員、渡辺健太郎委員

3. 議事概要

2月21日（金）に開催されたシンポジウムの振り返り、サービスデザインの導入及び実践にむけた研究会からの提言内容の検討等について討議が行われた。また、本事業において取りまとめる普及啓発コンテンツと調査研究報告書の具体的な構成・内容についても意見交換が行われた。

本研究会での主な要点は以下の通り。

- シンポジウムでは興味深い論点が多く挙げられた。これらの論点については、本研究会が終了した後も継続的に議論し深めていくべきである。例えば、シンポジウムの続編の実施や、研究会の活動報告を行う等、前向きに考えたい。
- 同じくシンポジウムでは、サービスデザインが事業にどう貢献するかを伝え、定着させることの重要性を改めて実感した。研究会からの提言として、サービスデザインがビジネスの成果・成長に繋がっていくことを明確に示すべきと思う。
- 普及啓発コンテンツの中で、サービスデザインの概念・手法を全て伝えることは難しいが、ここで取り上げる内容に関しては「なぜこれを紹介するのか」を編集方針として明確にしておきたい。
- 過去に日本では、デザイン思考が一時的に流行した方法論のようなものに捉えられ、矮小化されてしまうという残念な傾向があったが、サービスデザインにおいても同様のことが起こらないようにしたい。そのためにも、普及啓発コンテンツでは、ただ手法を実践したり、人にやらせたりするのではなく、「共創」で取り組むことの重要性を伝えたい。また、手法ありきではなく、より本質的なことが語られるべきである。

今後は、本研究会での討議内容を踏まえ、調査研究報告書と普及啓発コンテンツを取りまとめる。

以上

問合せ先

経済産業省 商務・サービスグループ クールジャパン政策課 デザイン政策室

電話：03-3501-1750